

平成 19 年度日本看護系大学協議会

第 1 回役員会 議事録

日時：平成 19 年 4 月 14 日（土）13：00～16：00

場所：聖路加看護大学 1 階会議室

出席者：（役員）井部、安酸、井上、小西、小泉、深山、村嶋、中西、中村
（事務局）山口、畠山、武内、高村、山田（記録）

欠席者：（役員）野嶋

敬称略

【配布資料】

- 資料 1-1 平成 19 年度日本看護系大学協議会役員名簿
- 資料 1-2 平成 19 年度日本看護系大学協議会事務局体制
- 資料 1-3 国・公・私立看護系大学一覧（平成 19 年度）
- 資料 1-4 日本看護系大学協議会 各委員会会計要領
- 資料 2-1 高等教育行政委員会の報告書の送付について
- 資料 2-2 日本看護系大学協議会平成 18 年度決算報告書
- 資料 3,4 なし
- 資料 5-1 委員会を担当する幹事の決定
- 資料 6 なし
- 資料 7-1 日本 - 韓国のジョイントワークショップに関する相談事項
- 資料 8-1 平成 19 年度予算素案
- 資料 8-2 平成 19 年度日本看護系大学協議会 出納帳のつけ方について（案）
- 資料 9-1 専門看護師教育課程認定手続きの説明会（案）について
- 資料 9-2 専門看護師教育課程認定手続きの説明会会場について
- 資料 10-1 平成 19 年度日本看護系大学協議会総会次第（案）
- 資料 11-1 平成 19 年度役員会日程について

1. 事務局体制について

資料 1-1～1-3 について紹介の後、1-4 の会計に関する人件費の支出の基準として、1 時間当たり 800 円あるいは 1000 円となっているところを、昨今のアルバイト事情を鑑み、1000 円あるいは 1200 か 1300 円にしようかとの提案があった。
反対意見は特になく、1 時間 1000 円とし、専門性・高度な能力を有する場合には、1200 円とすることとした。

2. 平成 18 年度事業活動報告

「平成 18 年度事業活動報告書」、「21 世紀の看護系大学・大学院教育の方向性（声明）」及び資料 2-1,2 について説明

平成 18 年度決算報告書（資料 2-2）

- ・ 将来構想積立金の使い道は、認証機関設立準備金として積み立てている。認証機関の法人化であり協議会そのものを法人化することについて結論は出していない。CNS 教育機関の認定や大学評価を協議会のままでやることはおかしいという意見があり、合意した（中西）。
- ・ 繰越金が大目である。宿題になるかという印象を持っている（中西）。
- ・ 本協議会事務局を会長校で担うというのではなく法人化し効率化を図る必要があると考える。認証機関についてどう進めるか大きな課題である（会長）。

3. 規約、申し合わせ事項

会長より、監事の選出と役割について規約に記載したらどうかと提案され、次回役員

会までに事務局から改正案を提出することで承認された。監事は役員の活動及び会計監査の役割が中心となる。委員会の長を担当しなければ委員会活動は行ってよいということとなった。

国立看護大学校を会員とするにあたり、申し合わせ事項第2条を「…ここでいう看護系大学とは、保健師、助産師、看護師の国家試験受験資格を取得させうる4年制大学及び省庁大学校をいう。」とすることとした。

役員の任期について(第5条) 現行では3月末とされており、引継ぎ実施前に任期終了となるため新役員に交代する際に混乱する。現状として、多くの資料を移動させ、場所を転々としながらの引継ぎである。総会までは前役員が責任を担う事として任期を総会后としてはどうかと会長から提案された。

- ・ 提案は妥当と思うが、これまでは報告書で次期役員が引き継ぐという方法で行ってきた(村嶋)。年度をまたいで役員を担う場合、学内での選挙などで役員としての要件を満たさなくなる場合もある(中村)などの意見があり、任期は現行のままとして、事務局機能を充実させることによって、引継ぎ時の混乱を緩和する方法を検討することを優先することとした。そのため、事務所探しについて、実際に活動するチームを結成して取り組むことで一致した。

第3条は、新たに会員校になる為にはということであって、毎年入会手続きを必要とするのではないという解釈(中西)であることが確認された。

4. 平成19年度活動方針

組織強化として役員選出規程の検討を行うことの提案が会長からなされた。

- ・ 役員推薦委員会として役員選出規定の検討を含むとして活動する方向で承認された。
- ・ 事務所を立ち上げるのが先か、法人化が先かについても検討いただきたい(会長)という要請があった。

広報出版委員会について、質の高い看護学生を確保するために外向けの広報をすべきであり、協議会のあり方が内向きになってきていることの指摘があったため、広報活動の充実が課題となった。

5. 役員の役割分担について

<常設委員会> は主担当

- ・ 専門看護師教育課程認定委員会(井上)
- ・ 高等教育行政対策委員会(井部)
- ・ FD委員会(安酸・中西)
- ・ 看護学教育研究倫理委員会(小泉)
- ・ 広報・出版委員会(小西)

<臨時委員会>

- ・ 高度実践看護師制度推進委員会(野嶋)
- ・ 看護学教育評価機関検討委員会(村嶋・中西・中村)
- ・ 役員推薦委員会(役員選出規定の検討を含む)(野嶋・小西・村嶋・井部)
- ・ 事務所を探すチームは、事務局整備担当プロジェクト(仮名)都内の会長任命校の担当者、村嶋、井上で行う。

看護実践能力検討委員会、保健師教育検討委員会、助産師教育検討委員会、起草委員会は昨年度で終了とし、看護管理コース教育検討委員会は高度実践看護師制度推進委員会に吸収するとした。

<活動計画の作成>

活動計画は、平成18年度活動報告における委員会報告中の「今後の課題」を参考にして今年度の計画を作成し4月28日までに事務局に送付願います。事務局は各担当者に様式をファイルで送信する。

<新役員構成>

会長：井部俊子

副会長：野嶋佐由美

幹事：安酸史子・井上智子・小西美知子・小泉美佐子・村嶋幸代・中村慶子

監事：中西睦子・深山智代

- * 会長推薦の幹事 2 名中 1 名を次回役員会で諮ることとする。また、井上幹事は会長推薦幹事であることが確認された。

<事務局体制>

庶務（村嶋） 会計（野嶋）

6. 平成 19 年度事業活動計画の検討（資料 6-1 平成 18 年度事業活動報告書 326 ページ）

8.を参照

7. 韓国の博士課程を持つ大学とのジョイントワークショップについて（資料 7-1）

村嶋より説明があり、対象者と参加料について検討したところ、対象は「日本と韓国で看護学の博士課程を設置している、もしくは、今後開設を予定している大学の看護学教育の責任者または担当者」とし、参加料は、協議会の事業として位置づけ、全額協議会がまかなうこととし 0 円とする。総額 30 万円程度とすることで承認された。

8. 平成 19 年度予算案について

FD 委員会が出ているのは、選んだ委員の地域的問題。手持ちの図書券を持ち出して対応した（中西）

時期によって交通費が違う（中村）

今年度は専門看護師教育課程の認定が更新だけで 25 課程ある。収入を 200 万円をお願いしたい（井上）

広報 HP の充実を図ったらどうか。会員向けでなく高校生向けのメッセージを。100 万円くらいつけてはどうか（村嶋）

500 万円くらいかけて新聞広告など検討すべき。HP を専門家に委託したらよい（中西）
事務局が見つかったときの契約料等の手続きには、予備費を使ってはどうか（会長）

9. 平成 19 年度専門看護師教育課程認定手続きの説明会について（資料 9-1, 9-2）

昨年度 158 名の参加者だった。今年は文部科学省のがんプロフェSSIONAL の構想もあり、問い合わせが多く、参加者は更に多くなる見込み。12 ブースに分かれて具体的な情報交換を予定しているが、がん看護 CNS の部屋を広くしてほしい。事務局メンバーが 3 名と少ないので、当日の会場係をお願いしたい（井上）

説明会では専門看護師教育課程認定の基準の小冊子 19 年版が出せない。総会後の発行となる。細則まで総会で承認を受けないと変更できないとされている。7 月申請なのに 6 月にしか認定基準が配布できない（井上）

- ・ 実務上不都合であれば、規約を変えればよい（中西）
- ・ 変更すべき規約の事項を教えてください（井部）
- ・ HP で会員校がのぞけるようにしたらどうか（村嶋）
- ・ 印刷部数を増やしてはどうか（井部）

10. 平成 19 年度総会の運営について（資料 10-1）

<審議事項について>

休憩前に 1) 平成 18 年度総会議事要旨（案）の承認について 2) 平成 18 年度決算・監査報告を行い、休憩後に入会にかかる規定の改定と専門看護師教育課程認定の規約改正について検討を行う。

<データベース整備について>

継続して行う。

大学の状況が経年で把握されているが、編集をもっと魅力的にすべきであるという意見があった。

<講演のテーマについて>

認証評価の問題、大学評価の現状と課題などの喫緊の話題としてはどうか(中西)。

➤ 「大学評価の現状と課題」として依頼する。

<報告事項について>

18年度の報告は誰がするのかという発言があり、報告書に基づき井部が行うこととなった。

11.平成19年度役員会の日程を以下のように決定した。

第1回 4月14日(土)

第2回 5月10日(木)17:30~20:30

第3回 9月17日(月・祝日)13:00~16:00

第4回 12月15日(土)13:00~16:00

第5回 2月9日(土)13:00~16:00

第6回 3月15日(土)13:00~16:00

以上